

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	上下水道事業経営審議会関係事務			事業コード	1172
所属コード	902500	課等名	上下水道局経営企画課	係名	企画係
課長名	長澤 秀則	担当者名	山路 聡	内線番号	6232
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード	5
	基本事業	経営の効率化	コード	3
予算費目名	水道事業会計 1 款 1 項 8 目 盛岡市上下水道事業経営審議会委員報酬(004-90)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	昭和 50 年度	
根拠法令等	盛岡市上下水道事業経営審議会条例			

(2) 事務事業の概要

上下水道事業の経営に関する重要な事項を調査審議させるための市長の諮問機関である。基本的には年 2 回(8 月, 2 月に)開催する。委員の任期は 2 年である。

(3) この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

水道事業の経営に関する重要な事項を調査審議されるための市長の諮問機関として, 昭和 50 年に設置した。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

水道事業と下水道事業の統合に併せて, 平成 22 年度から下水道事業に関しても審議をしていただいている。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象(誰が, 何が対象か)

経営審議会委員

(2) 対象指標(対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21 年度 実績	22 年度 実績	23 年度 計画	23 年度 実績	26 年度 見込み
A 委員数	人	13	15	15	15	15
B						

C						
---	--	--	--	--	--	--

(3) 23 年度に実施した主な活動・手順

経営審議会を2回開催した。平成23年8月11日には雨水高速処理施設の工事現場を視察を実施した後、平成23年度盛岡市水道事業会計及び下水道事業会計の決算状況について審議いただいた。また、平成24年2月20日は平成24年度盛岡市水道事業会計予算(案)及び下水道事業会計予算(案)の概要について説明した。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 審議会開催回数	回	2	2	2	2	2
B 議案件数	件	3	4	4	2	2
C 視察回数	回	1	0	1	1	1

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

市長の諮問機関として、経営審議会委員から上下水道事業の経営に関する重要な事項について様々な分野から意見を出していただく。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績	26年度目標値
A 審議会出席率	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	%	65	79	100	80	100
B 視察参加率	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	%	46	-	100	73	100
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円				
	②県	千円				
	③地方債	千円				
	④一般財源	千円	0	0	0	0
	⑤その他()	千円	251	199	424	205
	A 小計 ①～⑤	千円	251	199	424	205
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	150	250	250	233

	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	600	1000	1000	932
計	トータルコスト A+B	千円	851	1199	1424	1137
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

結びついている

理由：上下水道事業の経営に関する意見を委員から求める場であり，効果的，効率的な事業運営に反映させるために必要である。

② 市の関与の妥当性

妥当である

理由：上下水道事業の経営に関する重要事項を調査審議させるための市長の諮問機関であることから，市で行うことが妥当である。

③ 対象の妥当性

現状で妥当である

理由：経営審議会委員は，上下水道使用者及び知識経験者を有する者から広く構成され，各分野の団体等からの推薦により委員を委嘱している。

④ 廃止・休止の影響

影響がある

内容：経営審議会は市長の諮問機関であり，廃止，休止は考えられない。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

向上余地がない

理由：各委員とも職業を有しており，平日開催のため欠席者が出るのはやむを得ない。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

・受益機会の適正化余地

特定の受益者はいない

・費用負担の適正化余地

特定の受益者はいない

(4) 効率性評価

・事業費の削減余地

削減余地がある

内容：2年に1度，先進都市の経営状況等について視察を実施しているが，視察を廃止すれば事業費の削減ができる。

- ・人件費の削減余地
削減余地がある
理由：先進都市視察を廃止すれば，従事職員の業務時間数を削減することができる。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

先進都市視察の実施について，実施頻度等を含め見直しすることが必要である。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

先進都市視察の実施にあたっては，その目的や効果を見極めながら実施する必要がある。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

上下水道事業の経営に関する重要な事項を審議するための会議であることから，予算・決算等に関する審議はもちろんのこと，計画や構想，アセットマネジメント等，今後の経営戦略について，先進地視察をからめながら審議する機会として，充実に努められたい。